

職 種	IT スペシャリスト				
専門分野	プラットフォーム	ネットワーク	データベース	システム管理	セキュリティ
レベル7					
レベル6	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて、技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、システムプラットフォームフレームワーク設計、開発、導入メソッドを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。	300ノード以上の大規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームをリードし、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数50人以上のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、セキュリティフレームワーク設計、開発、導入メソッドを策定することができる。又、複雑性の高い技術的問題について技術チームをリードすることができる。
レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。	100ノード以上300ノード未満の中規模ネットワークプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術についてテクニカルチームにテクニカルガイダンスを実施し、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにて技術チーム責任者として、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践するとともに、技術チームにテクニカルガイダンスを実施することができる。
レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。	100ノード未満の小規模ネットワークプロジェクトにて技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバーに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバーに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最適開発手法、開発支援ツール、テスト技法などのソフトウェアエンジニアリング技術について経験の浅いメンバーに対してアドバイスを与え、業務を遂行することができる。	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにて、技術チームリーダーとして、最新技術動向を踏まえた適用技術の選定をリードすることができ、複雑性の高い技術的問題解決を実践することができる。
レベル3	技術チームメンバーとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。	技術チームメンバーとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。	技術チームメンバーとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。	技術チームメンバーとして、担当する領域において、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用した業務を実践することができる。	技術チームメンバーとして、担当する領域における最新技術動向を踏まえた適用技術の選定を実施することができ、技術的問題解決を実践することができる。
レベル2	以下の領域に関して、高度IT人材を目指す者が成長するために必要な基本的知識・技能を保有し、実務に活用している。(基本情報処理技術者試験合格レベル) <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術全般に関する基本的な事項</li> <li>・システムの設計・開発・運用に関する基本的な事項</li> <li>・ソフトウェアの設計・開発</li> </ul>				
レベル1	以下の領域に関して、職業人として情報技術に携わる者に最低限必要な基礎知識を保有している。(ITパスポート試験合格レベル) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータシステムやネットワークに関する基本的な事項</li> <li>・企業活動や関連業務に関する基本的な事項</li> <li>・問題分析及び問題解決手法に関する基本的な事項</li> <li>・関連法規、情報セキュリティに関する各種規定に関する基本的な事項</li> <li>・情報システムの開発及び運用に関する基本的な事項</li> </ul>				

職 種	ソフトウェア開発		
専門分野	基本ソフト	ミドルソフト	応用ソフト
レベル7			
レベル6	管理する要員数がピーク時15名以上で構成される基本ソフト開発プロジェクトの開発責任者として、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プロジェクト全体のプログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる	管理する要員数がピーク時15名以上で構成されるミドルソフト開発プロジェクトの開発責任者として、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プロジェクト全体のプログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる	管理する要員数がピーク時15名以上で構成される応用ソフト開発プロジェクトの開発責任者として、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プロジェクト全体のプログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる
レベル5	管理する要員数がピーク時5名以上15名未満で構成される基本ソフト開発プロジェクトの開発責任者として、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プロジェクト全体のプログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる	管理する要員数がピーク時5名以上15名未満で構成されるミドルソフト開発プロジェクトの開発責任者として、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プロジェクト全体のプログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる	管理する要員数がピーク時5名以上15名未満で構成される応用ソフト開発プロジェクトの開発責任者として、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プロジェクト全体のプログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる
レベル4	プロジェクトに参画する要員数がピーク時5名以上15名未満で構成される基本ソフト開発プロジェクトの開発チームリーダーとして、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる	プロジェクトに参画する要員数がピーク時5名以上15名未満で構成されるミドルソフト開発プロジェクトの開発チームリーダーとして、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる	プロジェクトに参画する要員数がピーク時5名以上15名未満で構成される応用ソフト開発プロジェクトの開発チームリーダーとして、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる
レベル3	基本ソフト開発プロジェクトの開発チームメンバーとして、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる	ミドルソフト開発プロジェクトの開発チームメンバーとして、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる	応用ソフト開発プロジェクトの開発チームメンバーとして、ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、プログラム実装・運用、障害対策・設計や、プログラム製造、評価、性能チューニングを行い、ソフトウェア開発を実施することができる
レベル2	以下の領域に関して、高度IT人材を目指す者が成長するために必要な基本的知識・技能を保有し、実務に活用している。(基本情報処理技術者試験合格レベル) <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術全般に関する基本的な事項</li> <li>・システムの設計・開発・運用に関する基本的な事項</li> <li>・ソフトウェアの設計・開発</li> </ul>		
レベル1	以下の領域に関して、職業人として情報技術に携わる者に最低限必要な基礎知識を保有している。(ITパスポート試験合格レベル) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータシステムやネットワークに関する基本的な事項</li> <li>・企業活動や関連業務に関する基本的な事項</li> <li>・問題分析及び問題解決手法に関する基本的な事項</li> <li>・関連法規、情報セキュリティに関する各種規定に関する基本的な事項</li> <li>・情報システムの開発及び運用に関する基本的な事項</li> </ul>		

職 種	IT サービスマネジメント			
専門分野	運用管理	システム管理	オペレーション	サービスデスク
レベル7	管理する要員数が250人以上または年間契約金額25億円以上において、運用管理の責任者として、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、他を指導できる高度な専門性をもち、判断を下すことができる。			
レベル6	管理する要員数が150人以上または年間契約金額15億円以上において、運用管理の責任者として、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、他を指導できる高度な専門性をもち、判断を下すことができる。	管理する要員数が150人以上または年間契約金額15億円以上において、システム管理の責任者として、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、他を指導できる高度な専門性をもち、判断を下すことができる。		
レベル5	管理する要員数が75人以上または年間契約金額7.5億円以上において、運用管理の責任者として、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、他を指導できる高度な専門性をもち、判断を下すことができる。	管理する要員数が75人以上または年間契約金額7.5億円以上において、システム管理の責任者として、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、他を指導できる高度な専門性をもち、判断を下すことができる。		
レベル4	運用管理のリーダーとして、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、高度な専門性をもち、判断を下すことができる。	システム管理のリーダーとして、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、高度な専門性をもち、判断を下すことができる。	オペレーションのリーダーとして、顧客リレーション、ユーザー部門との関係管理、システム化機材策定等に関して、高度な専門性をもち、顧客対応することができる。	サービスデスクのリーダーとして、顧客リレーション、ユーザー部門との関係管理、システム化機材策定等に関して、高度な専門性をもち、顧客対応することができる。
レベル3	運用管理のメンバとして、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、専門性をもち、見解を示すことができる。	システム管理のメンバとして、関連法規に関する知識、企業倫理、契約管理に関して、専門性をもち、見解を示すことができる。	オペレーションのメンバとして、顧客リレーション、ユーザー部門との関係管理、システム化機材策定等に関して、専門性をもち、顧客対応することができる。	サービスデスクのメンバとして、顧客リレーション、ユーザー部門との関係管理、システム化機材策定等に関して、専門性をもち、顧客対応することができる。
レベル2	以下の領域に関して、高度IT人材を目指す者が成長するために必要な基本的知識・技能を保有し、実務に活用している。(基本情報処理技術者試験合格レベル) <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術全般に関する基本的な事項</li> <li>・システムの設計・開発・運用に関する基本的な事項</li> <li>・ソフトウェアの設計・開発</li> </ul>			
レベル1	以下の領域に関して、職業人として情報技術に携わる者に最低限必要な基礎知識を保有している。(ITパスポート試験合格レベル) <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータシステムやネットワークに関する基本的な事項</li> <li>・企業活動や関連業務に関する基本的な事項</li> <li>・問題分析及び問題解決手法に関する基本的な事項</li> <li>・関連法規、情報セキュリティに関する各種規定に関する基本的な事項</li> <li>・情報システムの開発及び運用に関する基本的な事項</li> </ul>			